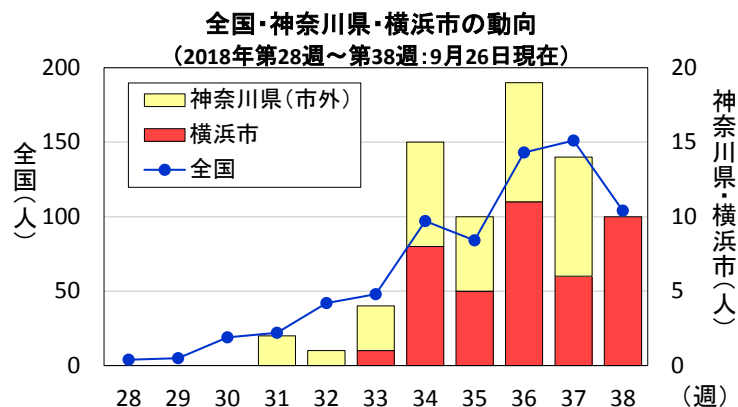


神奈川県内でも第31週(7月30日～8月5日)から報告が続いており、市内および県内での報告状況は、全国の報告状況と同様の推移となっています。

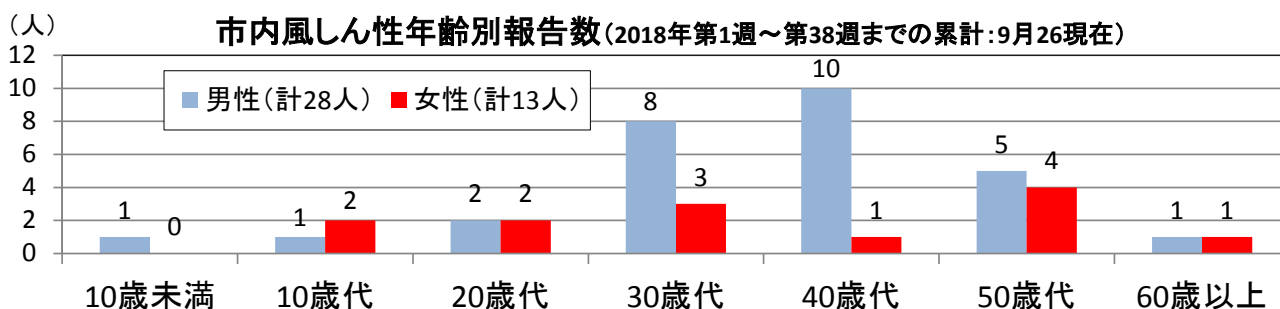
人口当たりの患者数は千葉県が最も多く、東京都、神奈川県、茨城県、埼玉県と続いています。

※神奈川県(市外)の第38週の患者数は未確定のためグラフには掲載していません。

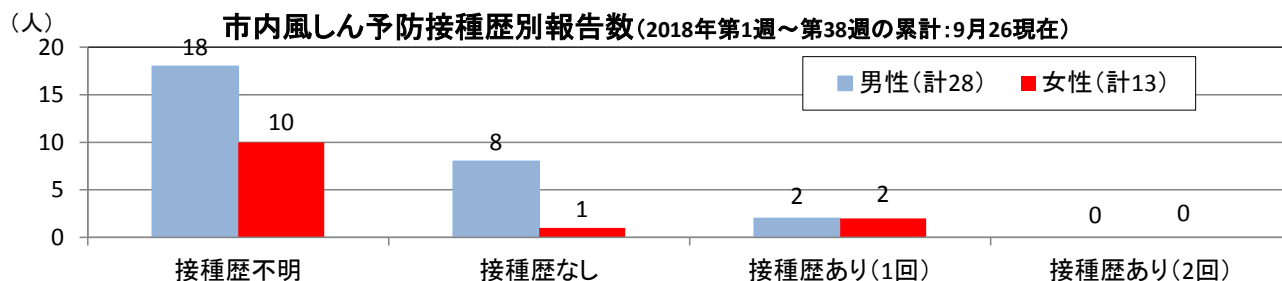


2 届出患者の性年齢別状況:

市内では、患者のうち男性が28人、女性が13人となっています。30～40歳代の男性の報告数が多くなっています。



3 予防接種の接種状況: 予防接種歴が確認されたのは男性2人、女性2人のみで、他はすべて接種歴なしか、不明でした。風しんの予防には予防接種が有効です。大人の方は、自身の母子手帳などで予防接種歴を確認しましょう。



4 風しんの予防接種等について

○定期予防接種(風しんは、予防接種法による定期予防接種の対象疾病です。)*3

現在実施している定期予防接種では、「麻しん・風しん混合ワクチン」(MR ワクチン)を2回接種します。

【標準的な接種期間】

- ・1期:1歳以上2歳未満
- ・2期:5歳から7歳未満で小学校就学前1年間

※3 [麻しん風しん予防接種について\(横浜市保健所\)](#)

○横浜市風しん対策事業(再掲)

横浜市では、19歳以上の横浜市民で、「妊娠を希望されている女性(注:妊娠中は接種できません)」、「妊娠を希望されている女性のパートナー」、「妊婦のパートナー」を対象に、「風しん予防接種」と「抗体検査」を実施しています。事業の詳細および協力医療機関はホームページ*4をご確認ください。

※4 [横浜市風しん対策事業\(横浜市保健所\)](#)